

# 防災気象情報の見直しについて

令和 7 年度市川市防災会議

令和 7 年 7 月 9 日

銚子地方気象台 白石 昇司

## 現在の防災気象情報には

- **大雨注意報・警報・特別警報の対象に土砂災害と浸水害がある**
  - **土砂災害の情報に大雨注意報・警報・特別警報と土砂災害警戒情報がある**
  - **洪水には特別警報がない**
- など、分かりづらい点がある。

この課題を解決するため、気象庁と国土交通省は「防災気象情報に関する検討会」を立ち上げ、効果的な防災気象情報を発信するための検討を行った。

令和6年6月に行われた検討会の取りまとめを踏まえ、**令和8年出水期から防災気象情報の大幅な見直しを行う予定です。**

- 「防災気象情報に関する検討会」の最終とりまとめ（令和6年6月）を踏まえた**新しい防災気象情報の運用を令和8年出水期から開始する予定**です。
- 新しい防災気象情報では、**住民の避難行動に対応した5段階の警戒レベルに整合させ、災害発生危険度の高まりに応じて各情報を発表**します。
- この方針のもとで、**情報名称の変更**、警戒レベル4相当となる**危険警報の新設**、**洪水関係の情報変更**、**気象防災速報の新設**など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わります。

# 現在の主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

警戒レベル				現行の主な防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
				指定河川 洪水予報 (河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (浸水害)	大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報					

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、避難指示等の発令を判断する

<警戒レベル4までに必ず避難！>

警戒レベルとの対応関係が整理されてはいるものの、次のような課題があっても分かりにくい。

- 情報名称がバラバラで、どのレベルに相当する情報なのか非常にわかりづらい
- 警戒レベル4相当の情報がないものがある（洪水・大雨浸水）
- 特別警報と警報が同じ警戒レベル4になっている（高潮）
- 高潮注意報がレベル2とレベル3相当に分かれている（高潮）
- 同じ警報が異なる対象災害を兼ねている（大雨警報が土砂災害と浸水害を兼ねるなど）

情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

## 【土砂災害】

### <現状>

土砂災害に関する情報		
発表主体	都道府県と気象台	気象台
発表単位	市町村ごと	市町村ごと
発表指標	60分雨量 (解析・予測) 土壌雨量指数 (解析・予測)	土壌雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5相当	<del>大雨特別警報 (土砂災害)</del>
	4相当	土砂災害警戒情報
	3相当	大雨警報 (土砂災害)
	2	大雨注意報

### <改善 (イメージ) >

土砂災害に関する情報		
発表主体	関係機関が協力して発表	
発表単位	市町村ごと	
発表指標	60分雨量 (解析・予測) 土壌雨量指数 (解析・予測)	
情報名称	5相当	レベル5 土砂災害特別警報
	4相当	レベル4 土砂災害危険警報
	3相当	レベル3 土砂災害警報
	2	レベル2 土砂災害注意報



## 【高潮】

### <現状>

高潮に関する情報		
発表主体	都道府県	気象台
発表単位	沿岸ごと	市町村ごと
発表指標	潮位 (実況)	潮位 (実況・予測)
情報名称	5相当	<del>高潮氾濫発生情報</del>
	4相当	<del>高潮特別警報 高潮警報</del>
	3相当	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
	2	高潮注意報

### <改善 (イメージ) >

高潮に関する情報		
発表主体	関係機関が協力して発表	
発表単位	沿岸ごとまたは市町村ごと※	
発表指標	波浪のうちあげ高 (実況・予測) 潮位 (実況・予測)	
情報名称	5相当	レベル5 高潮特別警報
	4相当	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 高潮注意報



※ 情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討

# 新たな防災気象情報における主な変更点

現状

洪水に関する情報				大雨浸水に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川	洪水予報河川・水位周知河川以外の河川		
河川数	429河川	1,774河川	約20,000河川※1	—	
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	河川事務所または都道府県	気象台	気象台	
発表単位	河川ごと	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	
対象とする現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫 湛水型の内水氾濫	内水氾濫による浸水 (外水氾濫による浸水※2)	
発表指標	【2～4相当】 水位 (実測・予測) 【5相当】 実現象 (確認)	【2～4相当】 水位 (実測のみ) 【5相当】 実現象 (確認)	流域雨量指数 表面雨量指数 (解析・予測)	表面雨量指数 (流域雨量指数※2) (解析・予測)	
情報名称	5相当	氾濫発生情報		【5相当】大雨特別警報 (浸水害) ※2	
	4相当	氾濫危険情報			
	3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	洪水警報	大雨警報 (浸水害) 大雨注意報 警戒レベル相当情報としての位置づけなし
	2 (相当)	氾濫注意情報	洪水注意報	洪水注意報	

- ※1 洪水キキクルで対象としている河川数 (準用河川や普通河川も含まれる)
- ※2 大雨特別警報(浸水害)のみ外水氾濫も対象とする



改善 (イメージ)

洪水に関する情報			大雨浸水に関する情報 (洪水予報河川・水位周知河川以外 (その他河川) の洪水に関する情報を含む)
分類	洪水予報河川	水位周知河川	
河川数	429河川	1,774河川	—
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	関係機関が協力して発表	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと	市町村ごと
対象とする現象	外水氾濫	外水氾濫	内水氾濫による浸水 (湛水型の内水氾濫も含む) その他河川の外水氾濫
発表指標	【2～4相当】 水位 (実測・予測) 【5相当】 実現象 (確認)	【2～4相当】 水位 (実測のみ) (流域雨量指数※3) (解析・予測) 【5相当】 実現象 (確認)	表面雨量指数 流域雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警戒情報	レベル3 大雨警戒情報
	2 (相当)	レベル2 氾濫注意情報	レベル2 大雨注意情報

**対象河川や発表主体は最終的に変更となる可能性があります**

- ※3 住民等に対し今後の水位の見込みを伝える際に活用

警戒レベル相当情報に位置付けること等について、今後の課題として事務局にて関係機関の協力も得て検討

- シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善などを取りまとめ。

## 警戒レベル相当情報の体系整理

### ◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理

- 【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。
- 【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。
- 【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
		氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫		
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

左記情報名称のポイントをシンプルに表現  
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

		洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
警戒レベル相当情報	5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
	4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
	3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
	2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

※3 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。

※4 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と5段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。

## 気象情報（解説情報）の体系整理

### ◎ 情報の性質を把握できるよう分類して提供

- これまでいくつかの種類「気象情報」として伝えていた情報は、線状降水帯をはじめとした具体的な極端現象が発生または発生しつつある場合にその旨を伝える「**極端な現象を速報的に伝える情報**」と、現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える「**網羅的に解説する情報**」に分類して提供。
- それぞれの区別がつくよう統一的な情報名称とし、「線状降水帯」などのキーワードを付すことにより情報へのアクセスを改善。

#### 極端な現象を速報的に伝える情報・・・「**気象防災速報**」

現在

- 顕著な大雨に関する気象情報
- 記録的短時間大雨情報
- 顕著な大雪に関する気象情報
- 竜巻注意情報

整理後

- 気象防災速報（線状降水帯発生）
- 気象防災速報（記録的短時間大雨）
- 気象防災速報（短時間大雪）
- 気象防災速報（竜巻注意／竜巻目撃）

#### 網羅的に解説する情報・・・「**気象解説情報**」

現在

- 全般/地方/府県気象情報
- 全般台風情報

整理後

- 気象解説情報（※）
- 気象解説情報（台風第〇号）

※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す。

## 防災気象情報の最適な活用に向けて

- 防災気象情報の基盤となる**データの提供の更なる推進**と共に、コンピュータで容易に処理できるよう**機械可読性の改善**も進める必要。
- 「**プッシュ型**」の防災気象情報とあわせて、ホームページ等に掲載する「**プル型**」の**コンテンツの活用を推進**すると共に、当該**コンテンツの充実**を図ることが重要。
- 防災気象情報を受け取った者が自ら考え主体的に行動することができる社会の実現を目指し、以下を推進する必要。
  - 防災気象情報の特徴・特性に対する理解が社会において深まるよう、**平時から知見を積み上げられる環境の構築**（ホームページへの解説資料の掲載等）
  - 国による普及啓発活動に加え、**様々な関係主体（教育機関、専門家、報道機関等）による普及啓発活動の推進**

## 令和8年出水期から、洪水・大雨・土砂災害・高潮の現象ごとに

- ○○注意報（警戒レベル2）
- ○○警報（警戒レベル3）
- ○○危険警報（警戒レベル4）
- ○○特別警報（警戒レベル5）

と統一した名称の情報を発表

顕著な大雨に関する気象情報、記録的短時間大雨情報、竜巻注意情報など、災害の危険性を速報的に伝える情報は「気象防災速報」と名称を統一

情報の名称や内容についてはまだ検討中であり、最終的な名称などにはこの資料のものと異なる可能性もあります。今年終わりから来年初めころには、決定した内容をみなさまにお知らせできる見込みです。

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 高波による浸水	住民が とるべき行動
<b>5</b>	<b>レベル5 大雨特別警報</b>	<b>レベル5 氾濫特別警報</b>	<b>レベル5 土砂災害特別警報</b>	<b>レベル5 高潮特別警報</b>	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
<b>4</b>	<b>レベル4 大雨危険警報</b>	<b>レベル4 氾濫危険警報</b>	<b>レベル4 土砂災害危険警報</b>	<b>レベル4 高潮危険警報</b>	危険な場所から全員避難
<b>3</b>	<b>レベル3 大雨警報</b>	<b>レベル3 氾濫警報</b>	<b>レベル3 土砂災害警報</b>	<b>レベル3 高潮警報</b>	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
<b>2</b>	<b>レベル2 大雨注意報</b>	<b>レベル2 氾濫注意報</b>	<b>レベル2 土砂災害注意報</b>	<b>レベル2 高潮注意報</b>	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
<b>1</b>	<b>早期注意情報</b>				災害への心構えを高める

ご清聴ありがとうございました



気象庁マスコットキャラクター はれるん

気象や地震の情報は

銚子地方気象台



銚子地方気象台ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/choshi/index.html>